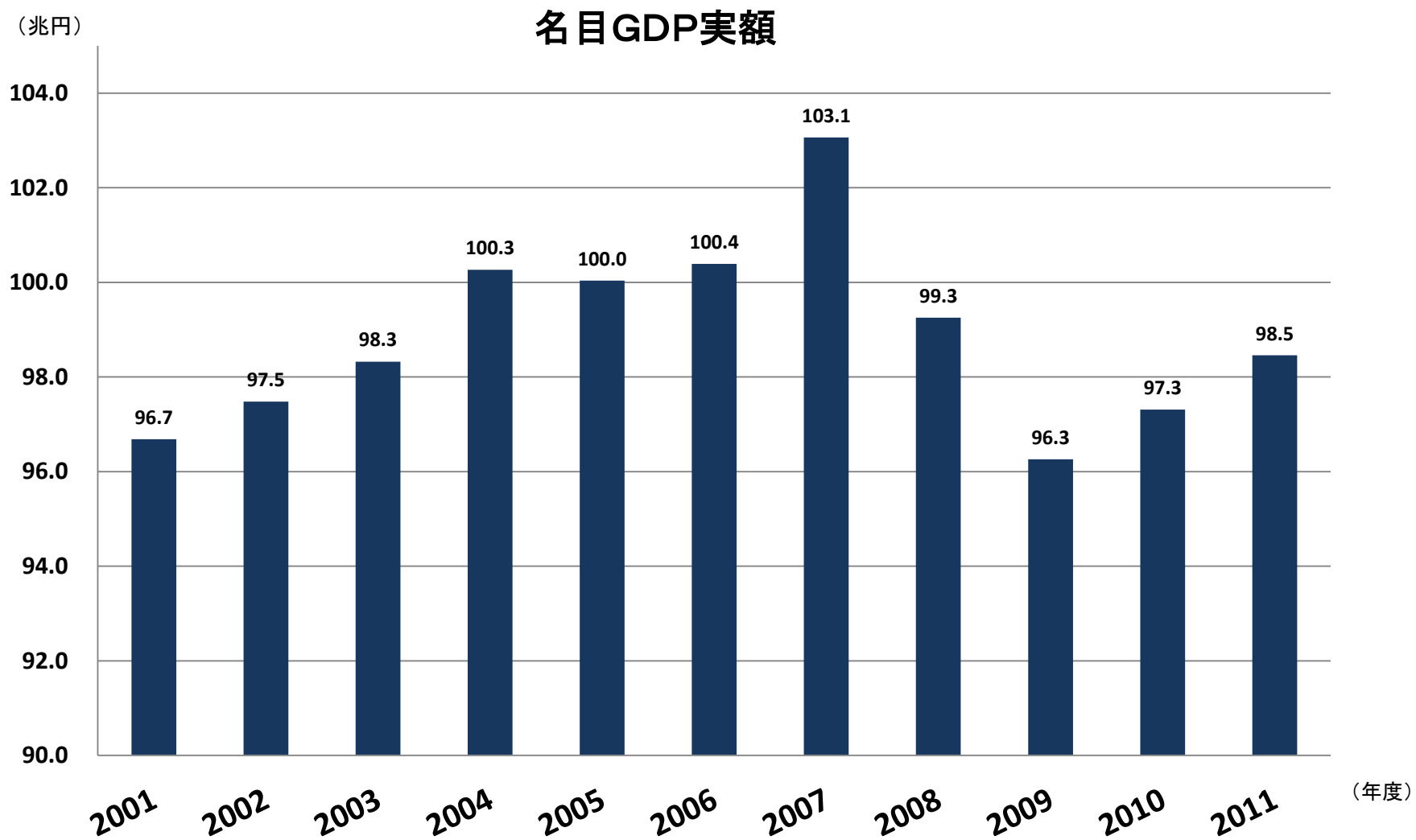


京都府の概況



京都府広報監 まゆまる

○名目GDPは、2007年度は103.1兆円、2011年度は98.5兆円。4.6兆円の減少

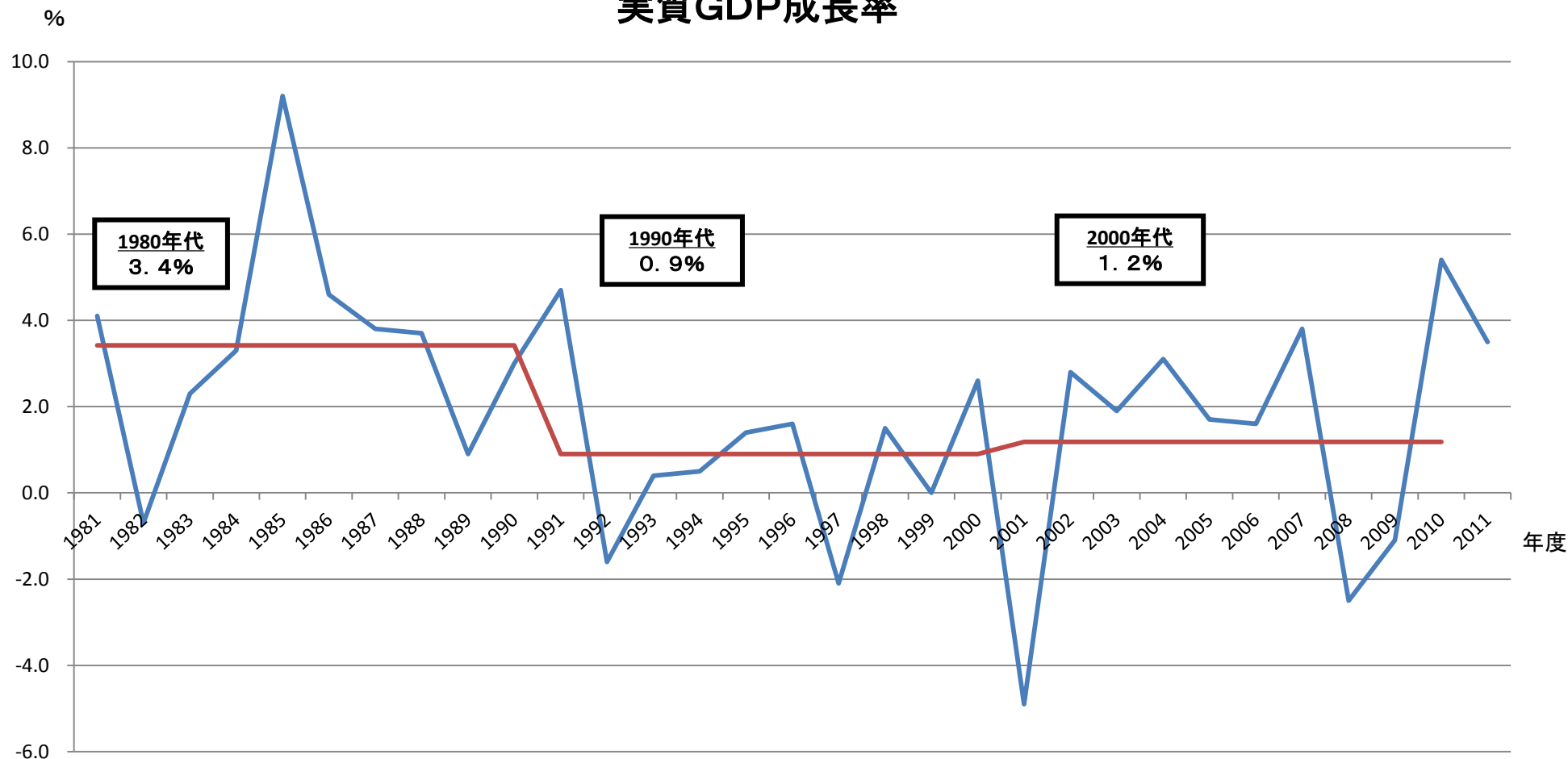


出典：京都府「府民経済計算」

京都府の経済成長の状況

○実質経済成長率は、80年代は3%台半ば、90年台・2000年台は1%前後に低下

実質GDP成長率

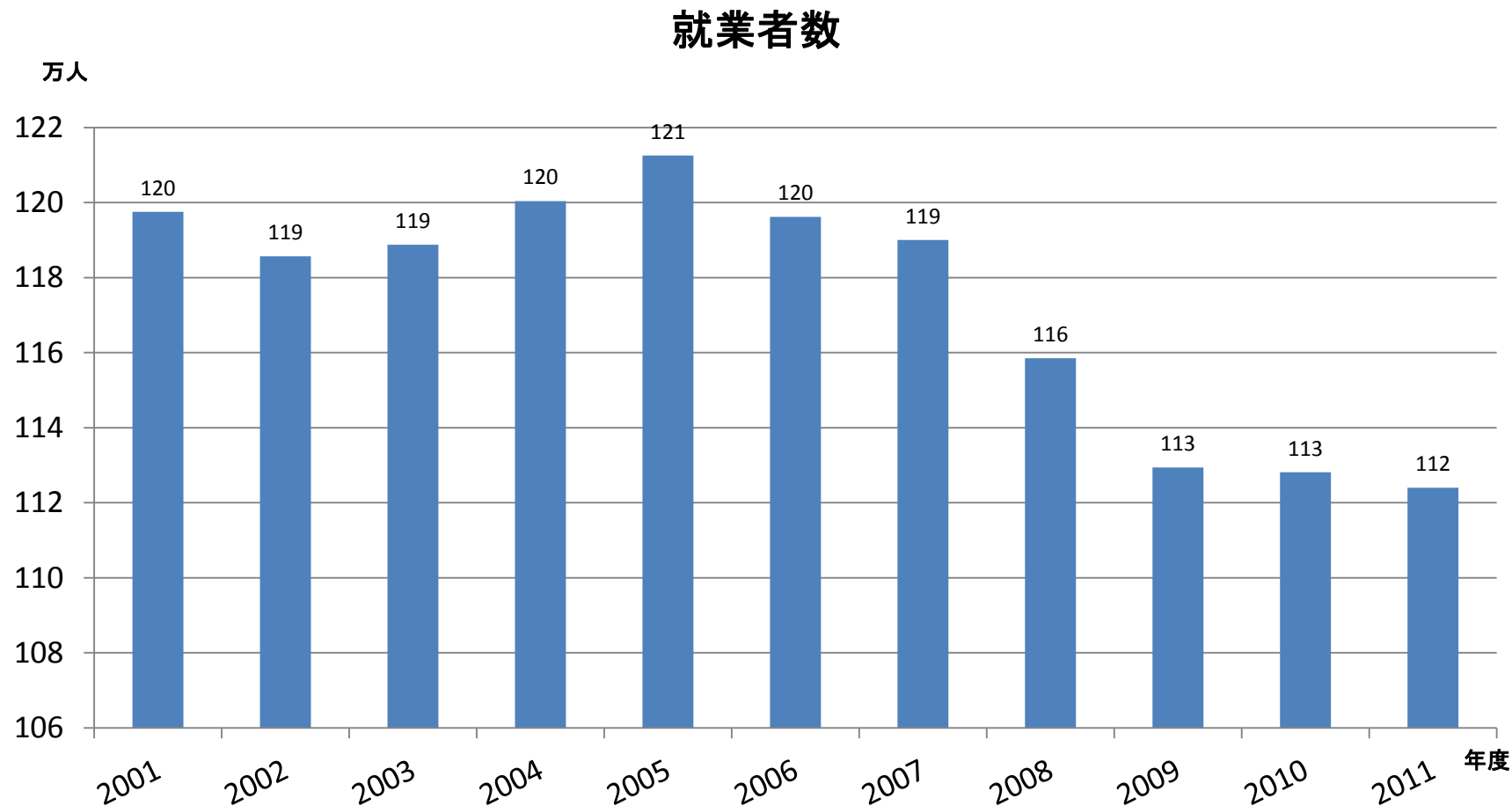


注: グラフの作成は実質成長率(固定基準年方式)による。

1980～1989年の数字は1990年基準による推計、1990～2001年の数字は1995年基準による推計、2002年～2011年の数字は2005年基準による推計であり、単純には比較できない。

出典：京都府「府民経済計算」

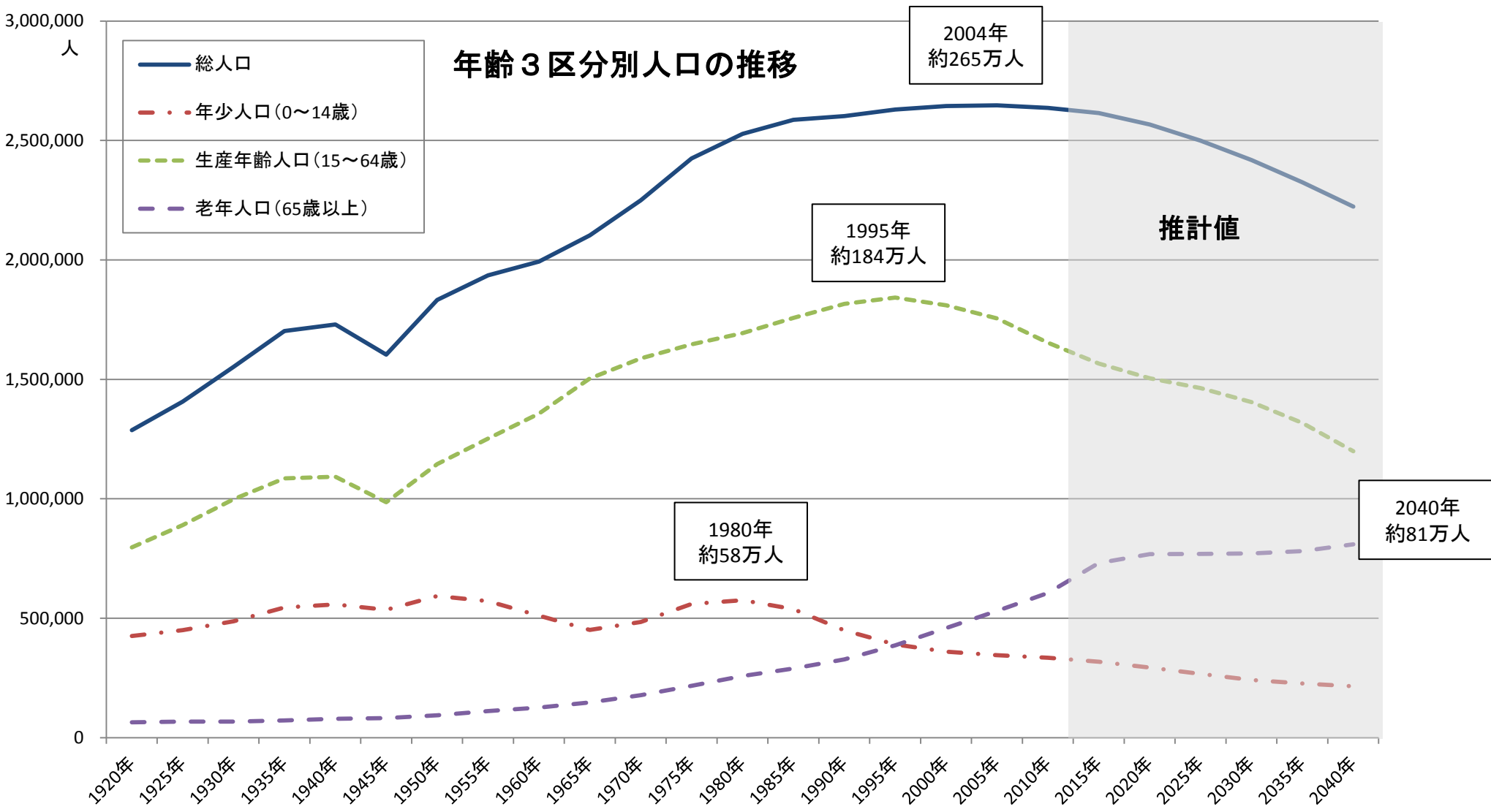
○就業者数は近年低下傾向



出典：京都府「府民経済計算」

○総人口は、2004年の約265万人をピークに減少。2040年には約220万人に減少すると見込まれる。

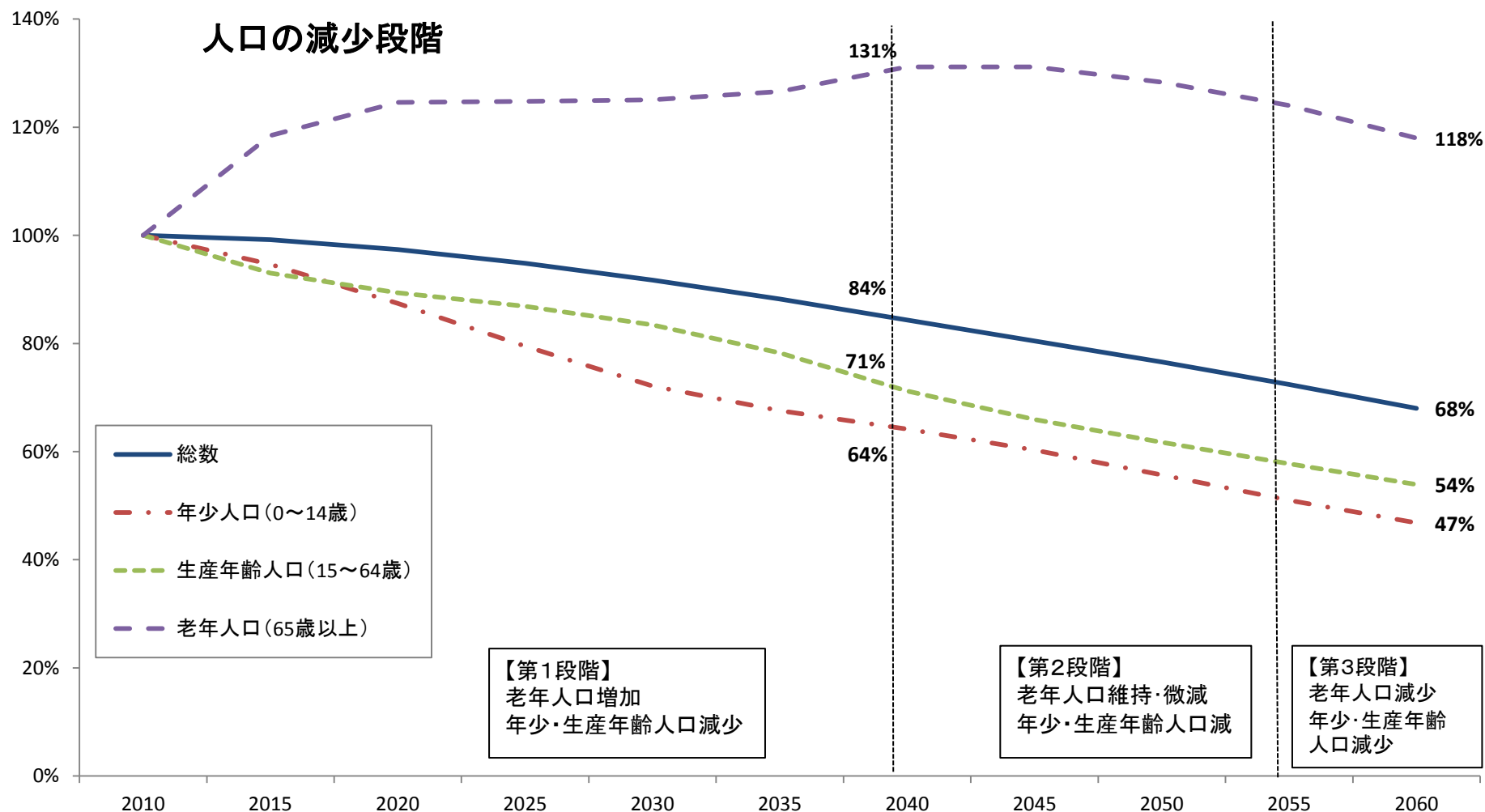
○生産年齢人口は、1995年の約184万人をピークに減少。2040年には約120万人に減少すると見込まれる。



出典：総務省「国勢調査」「推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

京都府の人口動態

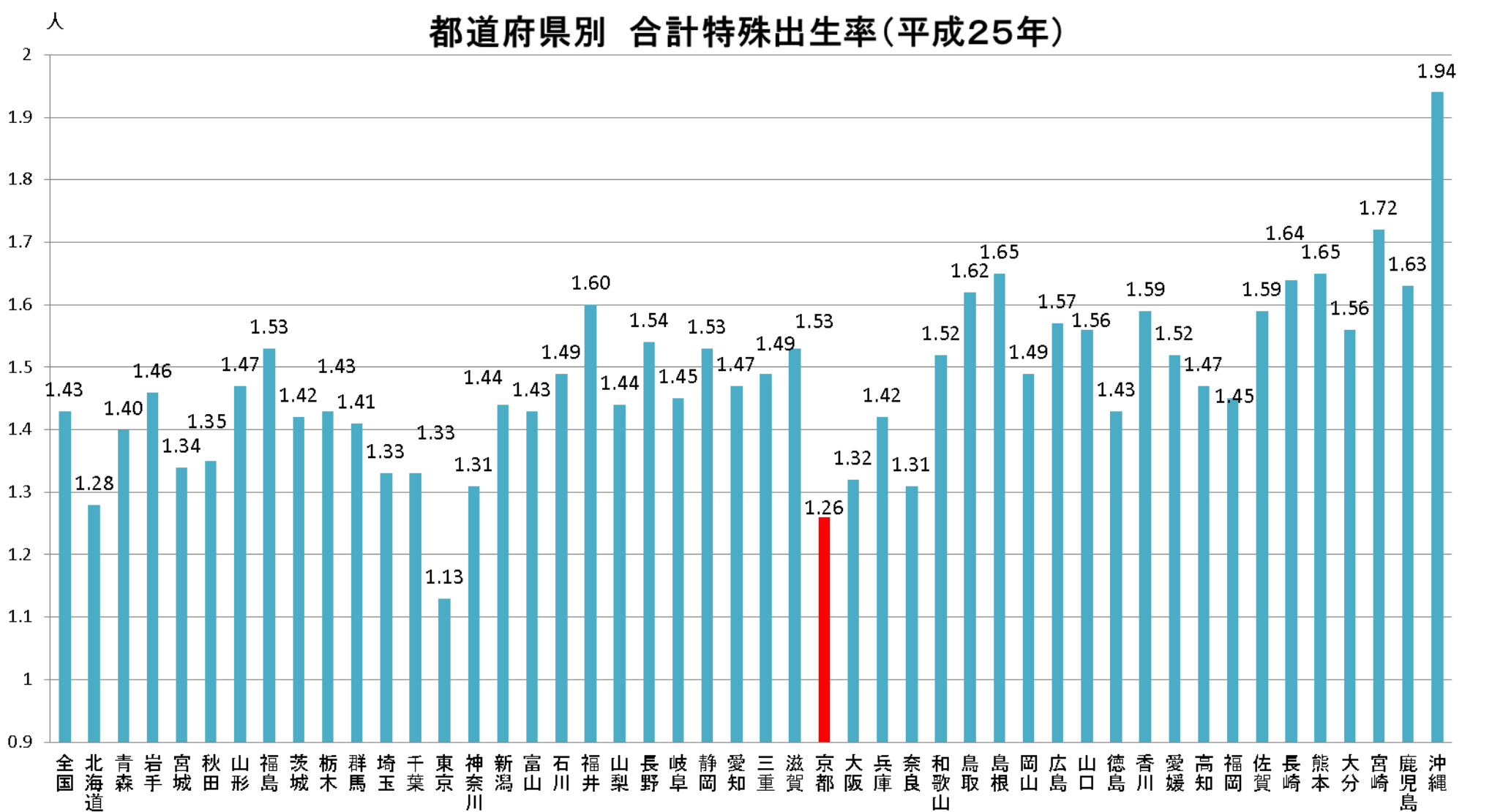
○2040年までは総人口が減少する中で、老年人口が増加する第1段階、2055年までは維持・微減の第2段階、その後、総人口、老年人口ともに減少する第3段階となる。



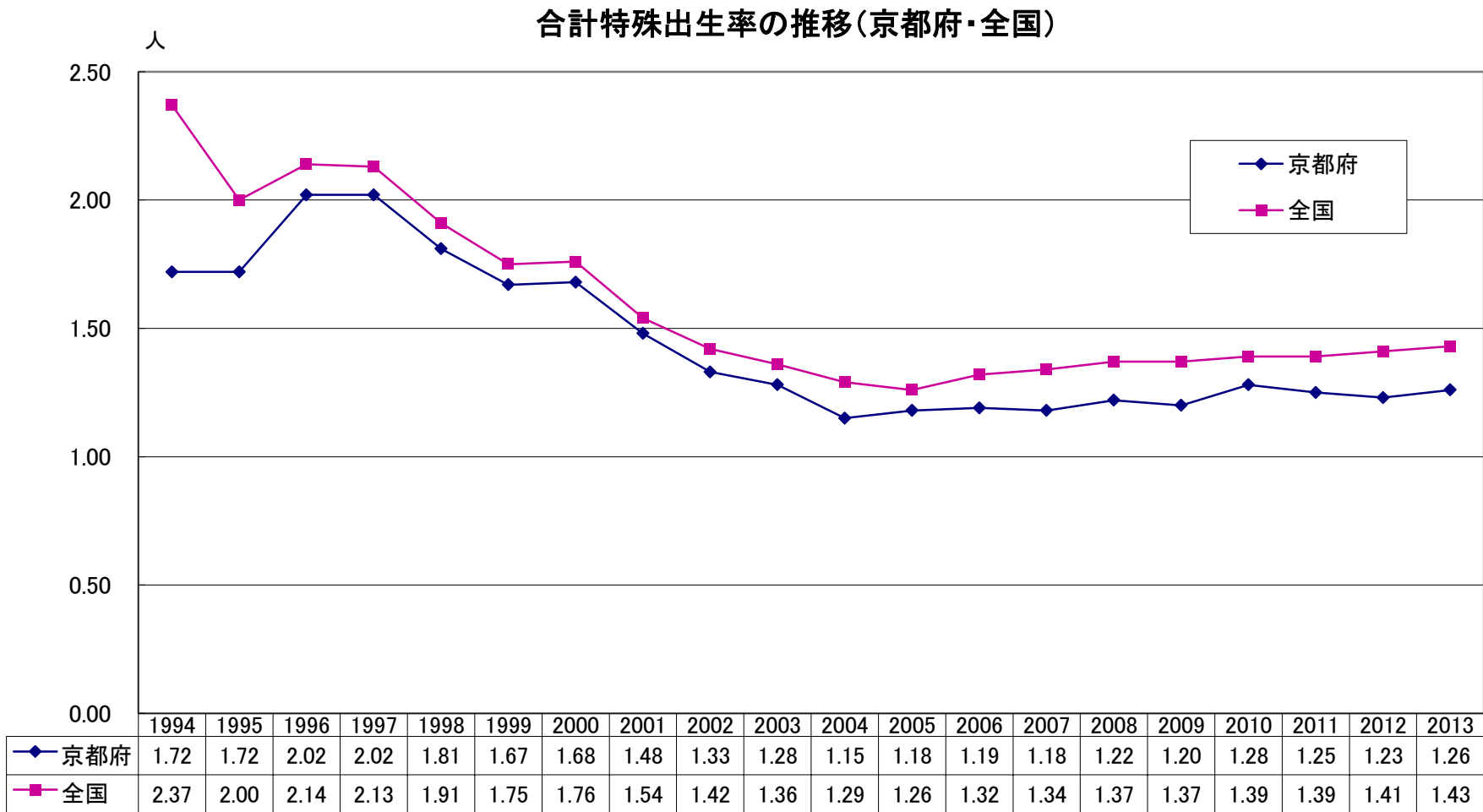
注：総人口が減少する中では、「老年人口増加」「老年人口の維持・微減」「老年人口の減少」の3つの段階を経て進行するとされている。

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

○京都府の特殊出生率は1.26で、東京都の1.13に次いで全国ワースト2位

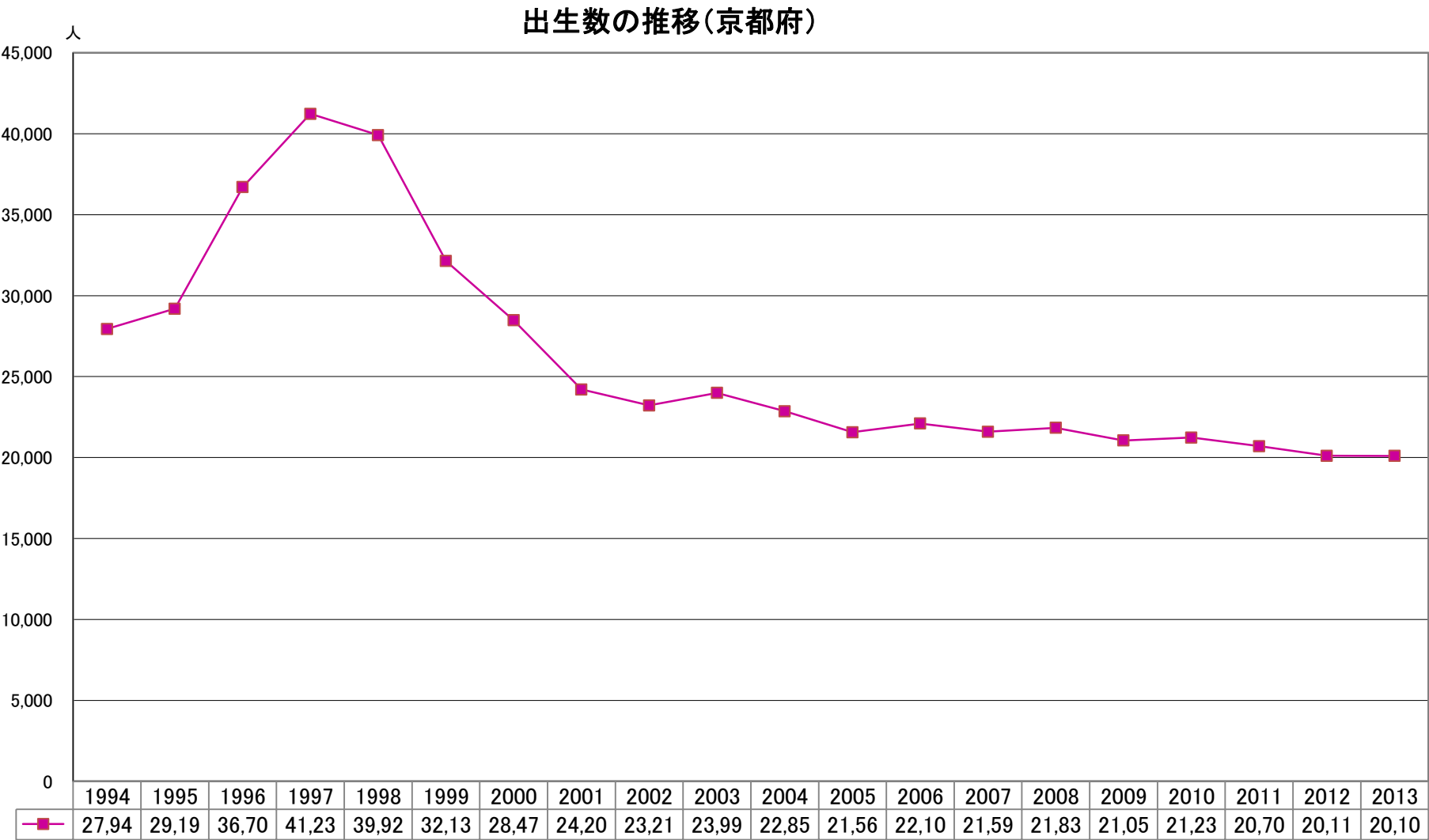


○京都府の合計特殊出生率は、2003年に最低の1.15となり、徐々に回復するも、おおむね横ばいで推移



出典:厚生労働省「人口動態調査」

○出生数は、1970年の約4万人をピークに減少。近年は、ピーク時の約半数の出生数で推移



出典：厚生労働省「人口動態調査」

京都府の人口動態

○2040年の総人口は、けいはんな学研都市を構成する3市町を除き、減少
 ○合計特殊出生率は、北部地域の市町村は全国平均を上回るなど地域差がある。

京都府内市町村の状況

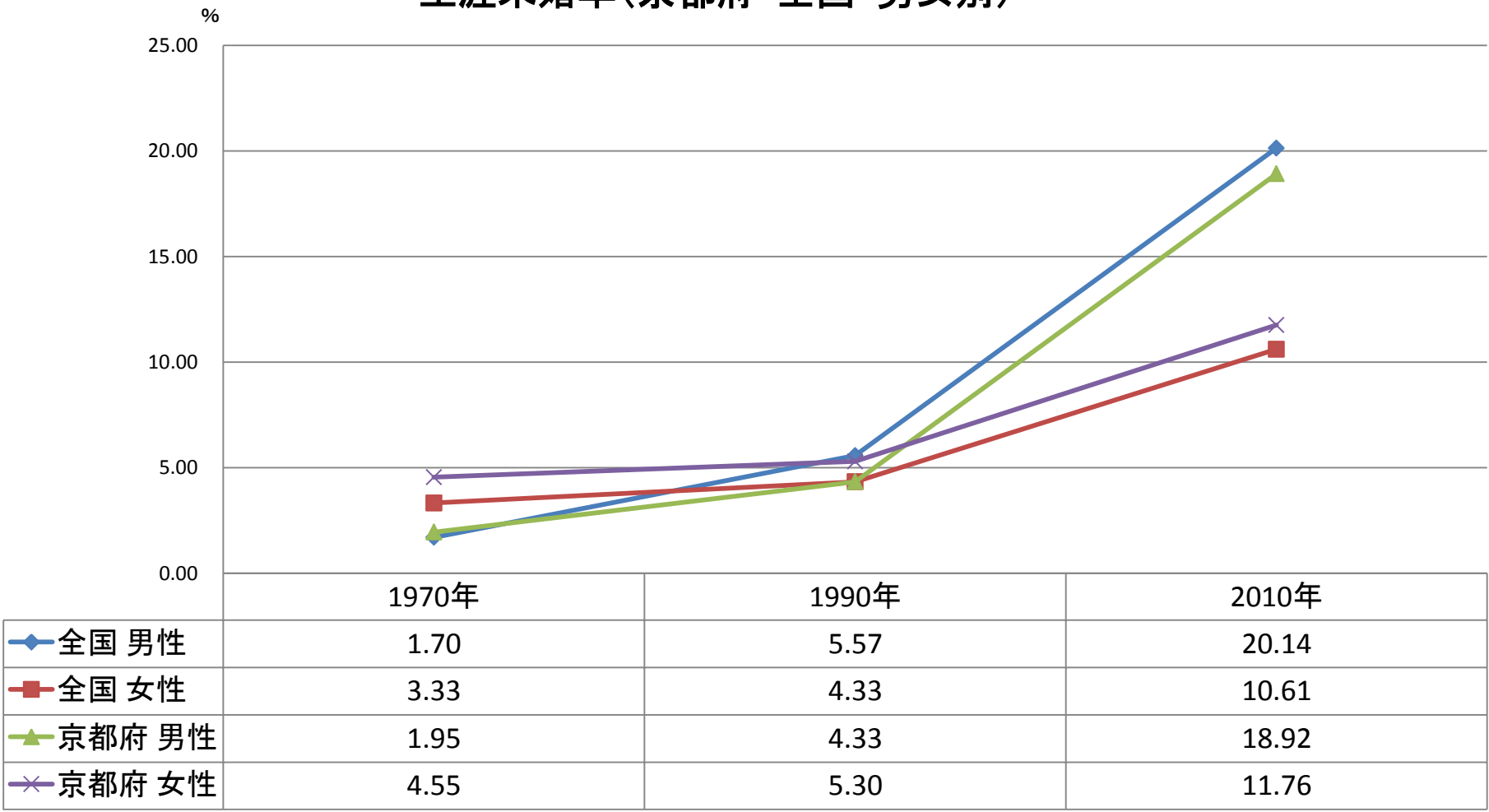
	総人口(人)		指数	
	2010年	2040年	2010年	2040年
京都府	2,636,092	2,223,586	100.0	84.4
京都市	1,474,015	1,281,381	100.0	86.9
福知山市	79,652	60,414	100.0	75.8
舞鶴市	88,669	66,522	100.0	75.0
綾部市	35,836	23,662	100.0	66.0
宇治市	189,609	158,044	100.0	83.4
宮津市	19,948	11,780	100.0	59.1
亀岡市	92,399	73,056	100.0	79.1
城陽市	80,037	58,984	100.0	73.7
向日市	54,328	43,315	100.0	79.7
長岡京市	79,844	71,455	100.0	89.5
八幡市	74,227	61,108	100.0	82.3
京田辺市	67,910	68,278	100.0	100.5
京丹後市	59,038	38,278	100.0	64.8
南丹市	35,214	24,672	100.0	70.1
木津川市	69,761	80,571	100.0	115.5
大山崎町	15,121	12,338	100.0	81.6
久御山町	15,914	11,299	100.0	71.0
井手町	8,447	5,506	100.0	65.2
宇治田原町	9,711	7,388	100.0	76.1
笠置町	1,626	775	100.0	47.7
和束町	4,482	2,336	100.0	52.1
精華町	35,630	35,635	100.0	100.0
南山城村	3,078	1,394	100.0	45.3
京丹波町	15,732	9,172	100.0	58.3
伊根町	2,410	1,116	100.0	46.3
与謝野町	23,454	15,107	100.0	64.4

	合計特殊出生率	順位
京都市	1.16	24
福知山市	1.96	1
舞鶴市	1.87	2
綾部市	1.63	6
宇治市	1.35	18
宮津市	1.65	5
亀岡市	1.32	21
城陽市	1.27	22
向日市	1.37	15
長岡京市	1.38	13
八幡市	1.37	14
京田辺市	1.35	17
京丹後市	1.73	3
南丹市	1.38	12
木津川市	1.54	7
大山崎町	1.38	11
久御山町	1.47	9
井手町	1.33	20
宇治田原町	1.36	16
笠置町	1.09	25
和束町	1.18	23
精華町	1.33	19
南山城村	1.05	26
京丹波町	1.40	10
伊根町	1.51	8
与謝野町	1.71	4

出典：
 国立社会保障・人口問題研究所
 「日本の地域別将来推計人口」、
 厚生労働省「平成20年～平成24
 年人口動態保健所・市区町村別
 統計」

○生涯未婚率が大幅に上昇
○1990年には男女ほぼ同率であったが、2010年には、男性は女性のほぼ倍となっている。

生涯未婚率(京都府・全国・男女別)



出典: 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」

○第1子の出生数の減少率よりも第2子、第3子の減少率の方が高く、少産化の傾向が見られる。

出生順位別出生数

(人、%)

		1980年		1990年		2000年		2010年	
			指数		指数		指数		指数
第1子	京都府	13,675	100.0	10,670	78.0	11,941	87.3	10,033	73.4
	全国	667,683	100.0	531,648	79.6	583,220	87.3	509,736	76.3
第2子	京都府	13,315	100.0	9,239	69.4	8,784	66.0	7,874	59.1
	全国	642,573	100.0	459,569	71.5	434,964	67.7	390,212	60.7
第3子	京都府	4,439	100.0	3,650	82.2	2,718	61.2	2,707	61.0
	全国	227,604	100.0	192,788	84.7	141,011	62.0	136,302	59.9

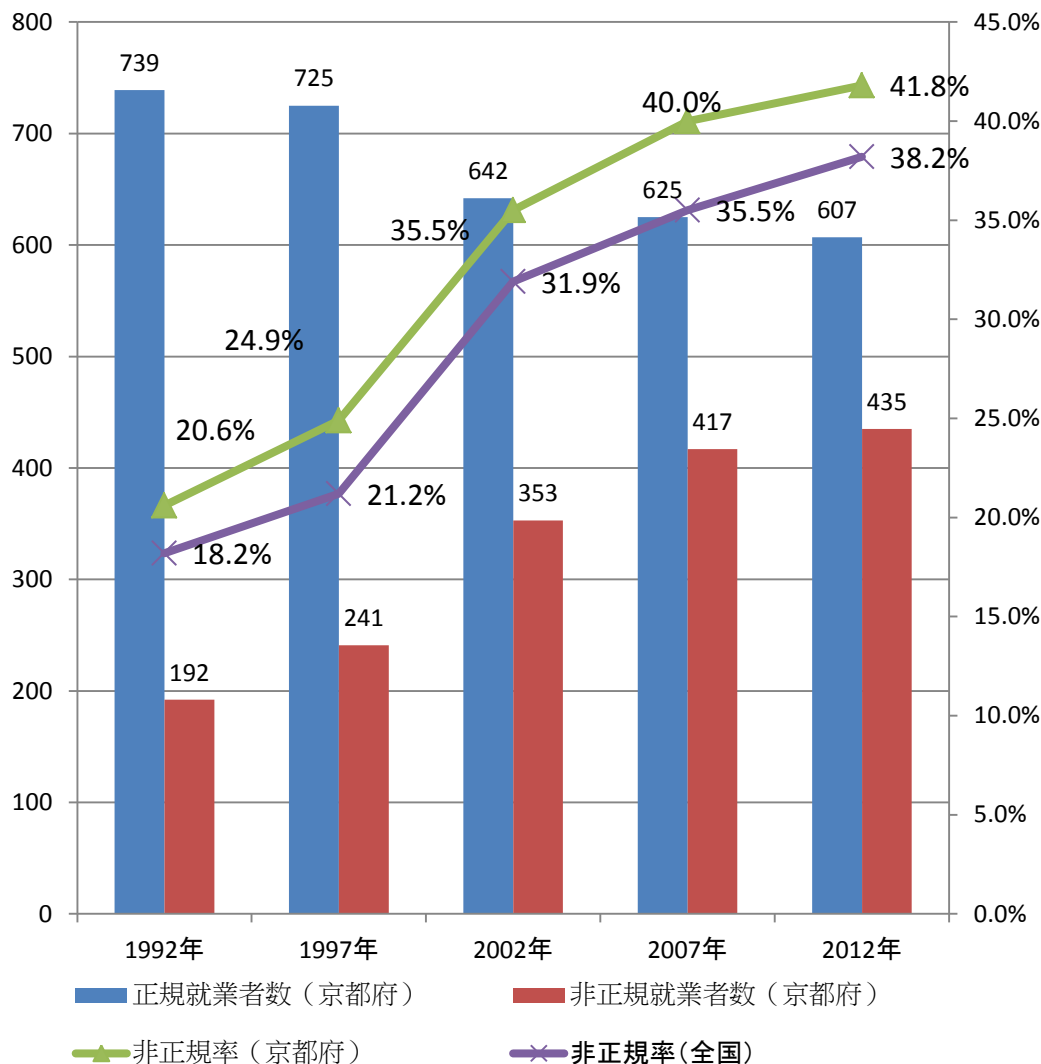
出典：厚生労働省「人口動態統計」

京都府の人口動態(雇用状況)

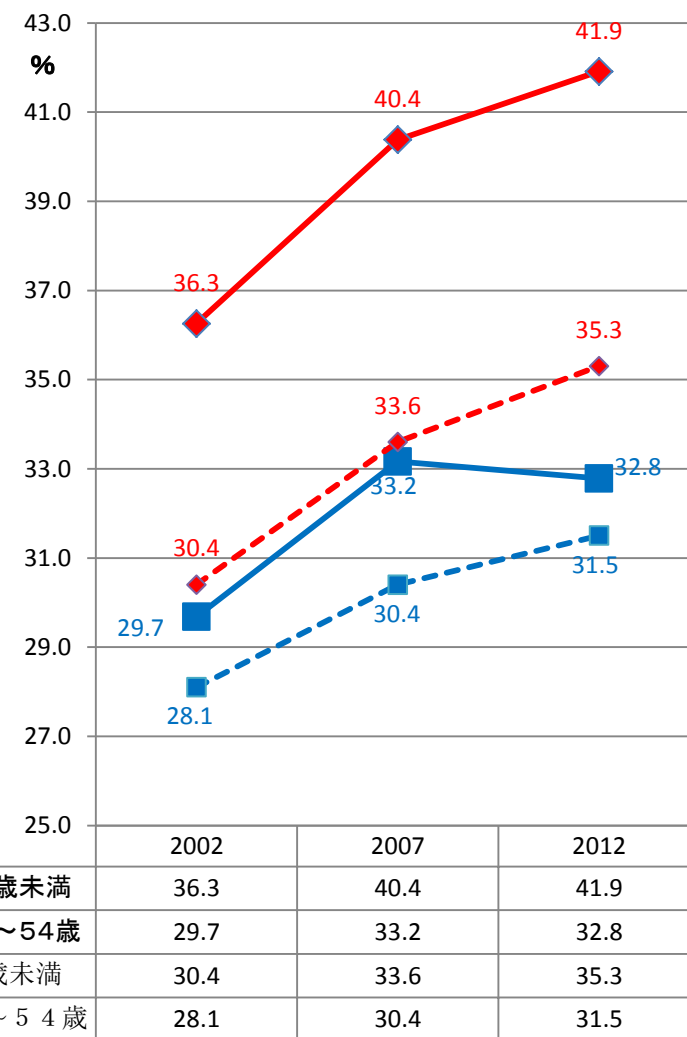
- 京都府の非正規率は、全国平均と比べて高い。
- 年代別に見ると、特に35歳未満の若い世代の非正規率が高い。

非正規就業者数、非正規率の推移

(京都府・全国)

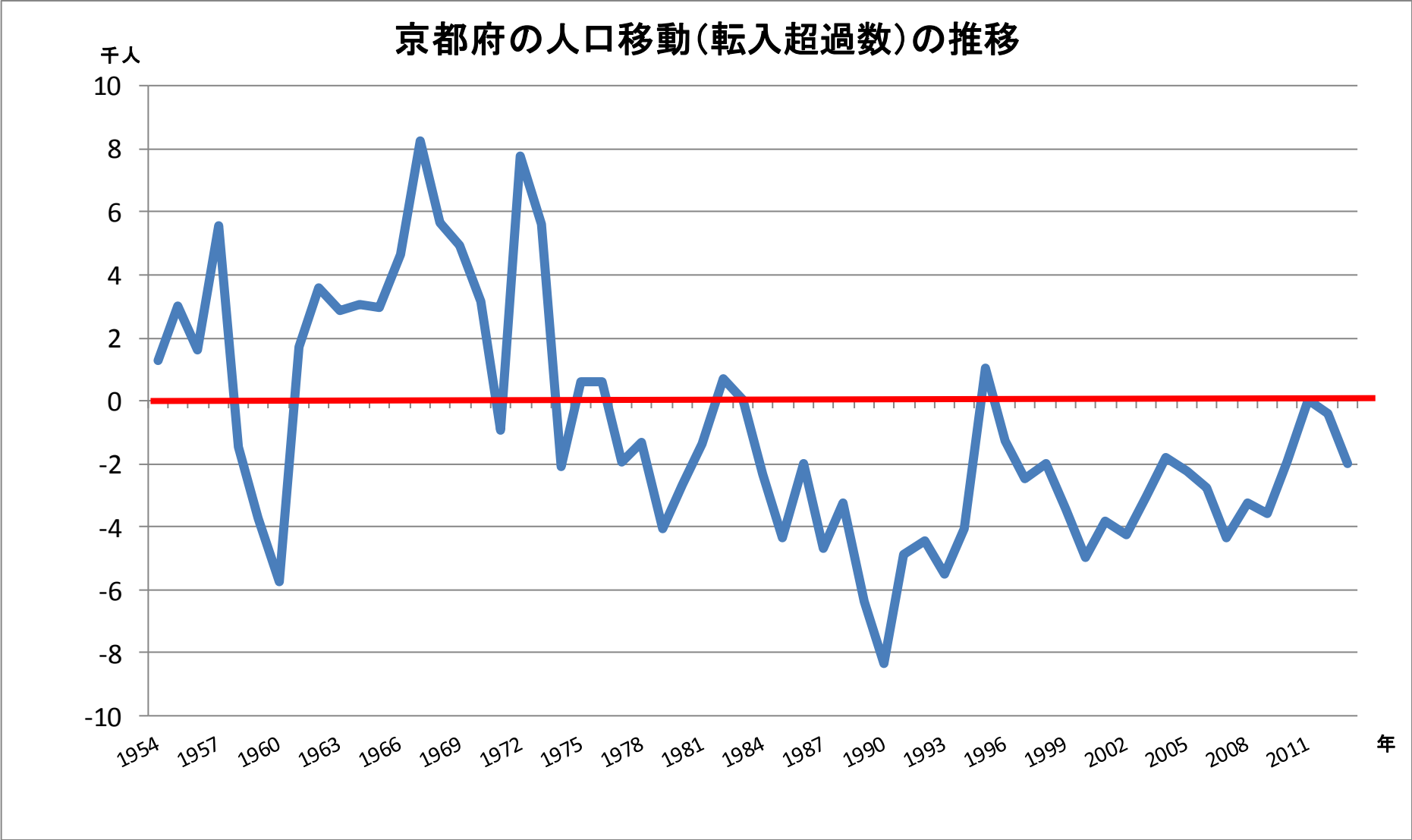


年齢別非正規率(京都府・全国)



出典:総務省「就業構造基本調査」

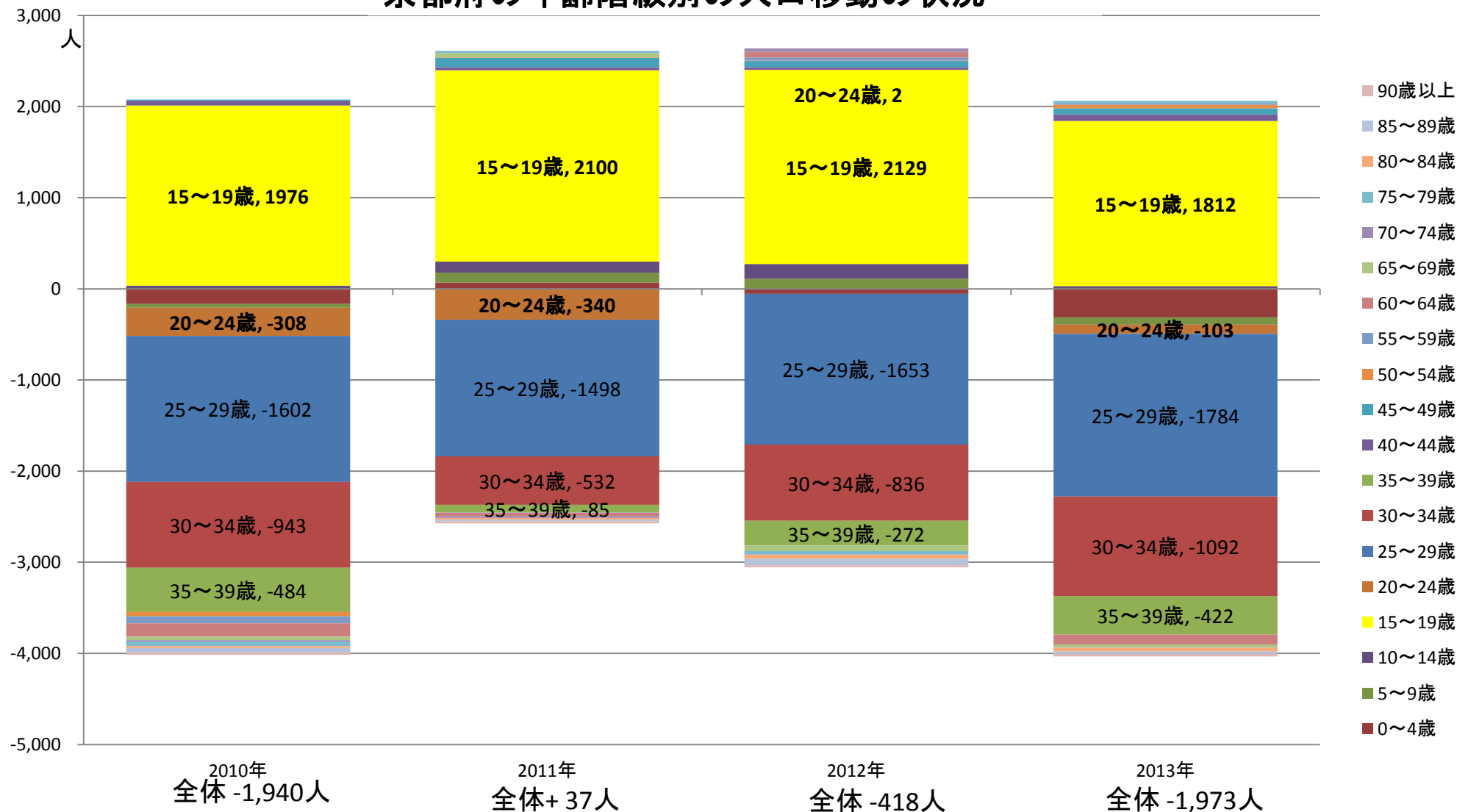
○1970年代後半以降、ほぼ転出超過(社会減)で推移



出典:総務省(住民基本台帳人口移動報告)

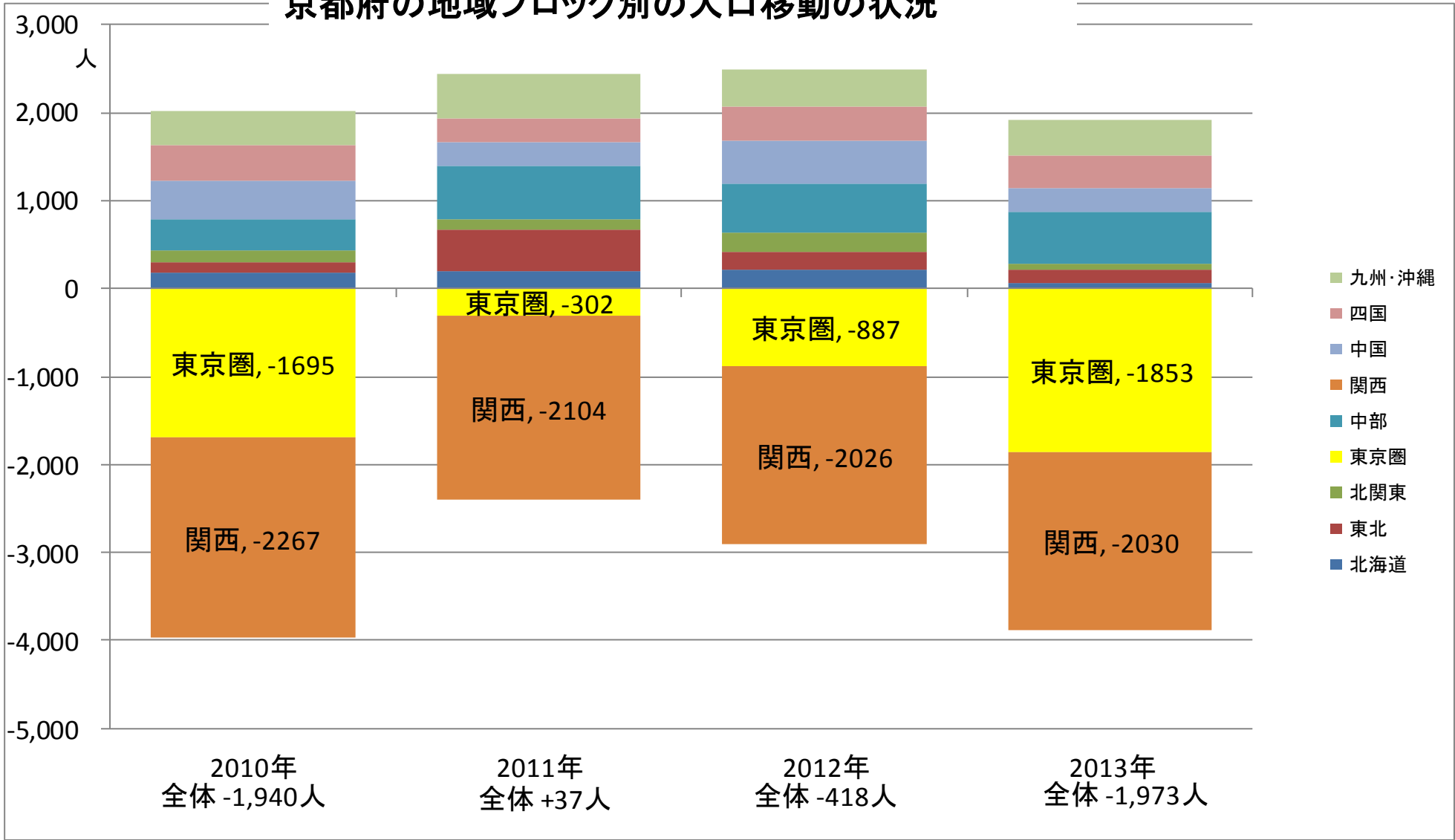
○大学入学年齢を含む15～19歳は転入超過、大学卒業後の若い働く世代である20～39歳は転出超過

京都府の年齢階級別の人口移動の状況



○近年、京都府からは関西圏と東京圏に人口が流出

京都府の地域ブロック別の人口移動の状況



○京都府のGDPに占める割合は、第1次産業が0.4%、第2次産業が26.2%、第3次産業が72.7%

経済活動別GDP(名目)

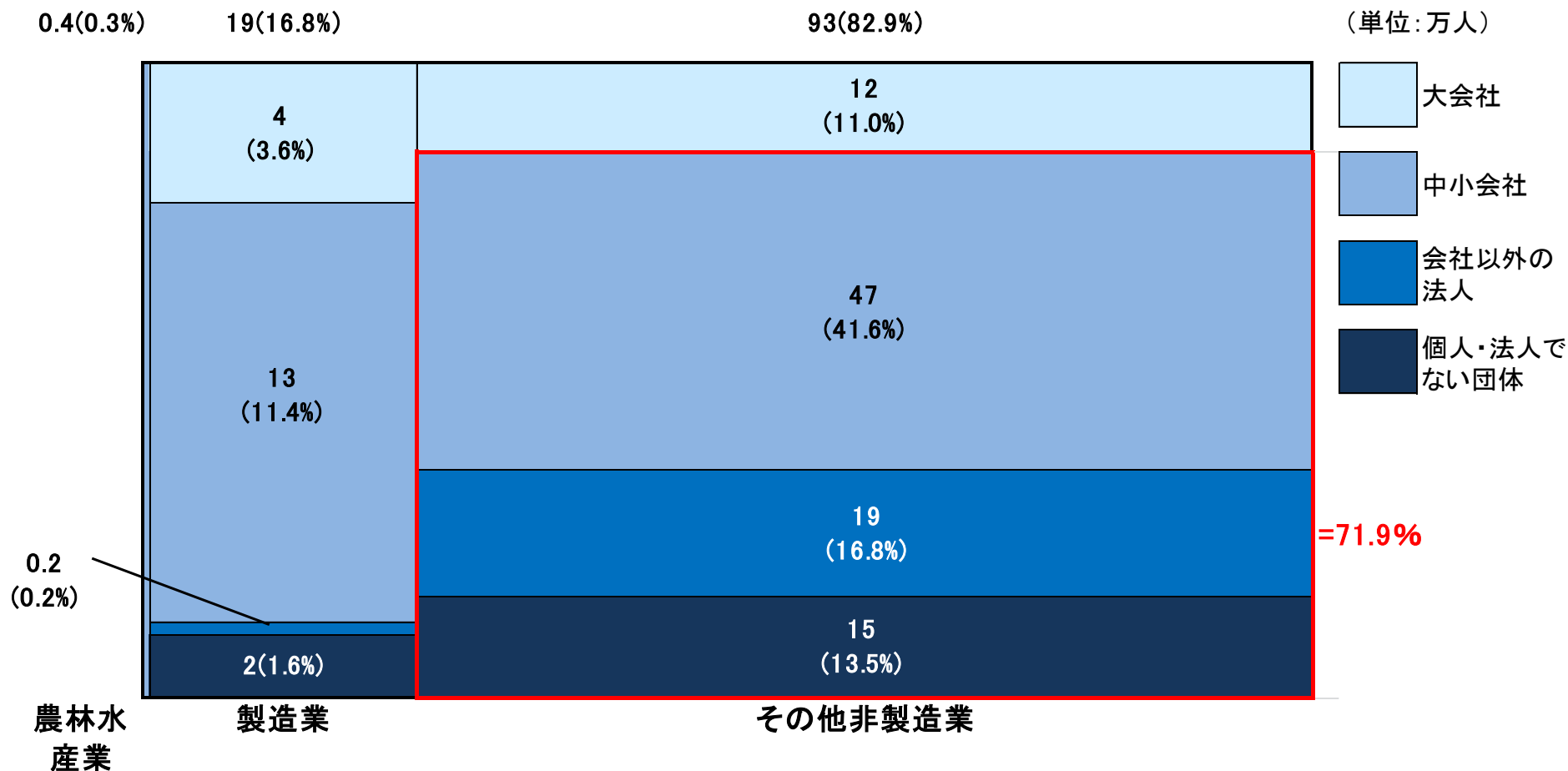
(兆円、%)

	京都府 (平成23年度)		全国 (平成23年)	
	実額	構成比	実額	構成比
第1次産業	0.04	0.4	5.4	1.2
第2次産業	2.58	26.2	113.8	24.2
第3次産業	7.15	72.7	349.1	74.2
総生産	9.85	100.0	470.6	100.0

出典: 京都府「府民経済計算」、内閣府「国民経済計算」

京都府の産業構造(産業別・企業別の従業者数)

- 全体の約85%は、中小規模の事業者の従業員
- 全体の約70%を非製造業の中小規模の事業者が占めている。



出典: 総務省・経済産業省「平成24年経済センサス・活動調査」

(注) 中小会社=中小企業基本法に基づく中小企業の従業員規模、大会社=中小企業を超える従業員規模